

## 立太子禮奉祝の歌

(一) 黄菊の花の千代占めて

桐に棲むてふ鳳凰も

(二) 明治の帝生れまし、

日嗣の皇子は壺切の

(三) 皇御神も調でつつ

かしこきかなや十寸鏡

(四) あゝ春宮の壽は

鶴と龜との在經べき

(五) 银杏の城の下に住む

今日の御典を祝はすや

榮に榮ゆる大御代は

出でて御空を舞ひぬべし

今日を生日の足日とて

御劔をぞ受けたまふ

御親の君に見えつゝ

清き心を調します

千秋五百秋遠永く

世の限をも知りまさむ

學びの友よいざ共に

高き調に歌はずや